大阪市教

2024年 1月11日
VOL. 609
（一部30円。購読料は組合費に含む）

明けましておめでとうございます
大阪市教執行委員会

「建国記念の日」不承認
大阪府民のつどい
2月11日 13:30
たかつガーデン

発行　大阪市学校園教職員組合　大阪市中央区法円坂1－1－35（大阪市教育会館内）
TEL 6910-8700 https://osaka-shikyo.org/
FAX 6910-7990 E-mail o-sikyo1@sea.plala.or.jp

「わくわくひろば」広がる「学び合い、パワー頂く」

第32回「わくわくひろば」を12月16日開催し、18人の参加で盛況でした。若い人からベテランまで年齢層も幅広く、初めて男性が夫婦で参加があり「わくわくひろば」の広がりを感じました。

はじめに「ガザの人道危機・人類の危機」について資料を読みながら学習をし、「わくわくひろば」として「子ども、女性、人の命を奪うイスラエルのジェノサイドは許さない」決議をあげました。イスラエル大使に向けての抗議はがきをみんなで書き、カンパもありました。

メイン企画では「飛び出すカード」（クリスマスツリーと優勝カップ）を作りました。参加者はハサミやカッターを手に真剣にカード作りに取り組み、久しぶりの物づくりを楽しみました。出来上がったクリスマスツリーにうっとりしました。

手を動かしながら各職場の交流も。職場に人が足りていないこと、管理職が権利、制度について無理解なことなど実態が明らかになりました。

「若手の教職員が増え、先輩の技を伝授してもらう機会が少ないと感じている中、今日様々な職場の方と学びあえて嬉しく、充実した時間を過ごせました」

「みなさんが日々頑張られ、努力を重ねておられることにパワーを頂きました。すてきなカードができました。教室に飾ります」と感想が寄せられました。

その後の交流会も11名の参加で楽しみました。久しぶりに飲食を伴う会合を持つことができ嬉しかったです。今後も続けていくので参加ください。次回は3月20日（祝）です。

障害のある子をふくめたすべての子どもの発達保障

子どもの権利・NGO大阪は12月17日学習会を行い、山林哲さんが「障害のある子をふくめた全ての子どもの発達が保障される教育の実現を」と題して報告しました。

障害児学級の在籍児童数が全国では25年間で5・4倍、大阪府では約7倍に増加しましたが、23年度は約1700人・234学級減（政令市を除く）。史上初めての障害児学級大幅減となりました。文科省22年4月27日通知によるものです。

保護者から、「息子は特別支援学級で学ぶ時間は少ないですが、特別支援学級があるおかげで、学校に通い続けることができました。安心できる居場所がなくなるのでは、とても不安です」の声が上がりました。子どもは「通常学級は、生徒がいっぱいいて先生は一人しかいないので対応してもえるわけないやん。先生も忙しいし」。

子どもたちはテスト漬けの「競争圧力」と「学校安心ルール」などによる「同調圧力」で苦しんでおり、「ストレスの多い学校環境（過度に競争的なシステムを含む）から子どもを解放」（国連子どもの権利委員会）することが求められています。

競争・管理に傾倒する教育の在り方の是正をもとめ、貧しい教育条件のまま、「通常学級か特別支援学級か」「地域の学校か支援学校か」という二者択一を迫るのではなく一人ひとりの障害や発達の状態、教育的ニーズに応じる事が可能な基礎的な条件整備を進めることが求められています。

「人道・人類危機 平和を」権力の腐敗に歯止め

パレスチナ・ガザ地区の死者が2万2千人を超え7割が子ども・女性。「人道危機というより、人類の危機。国際人道法をはじめ、人類社会が積み重ねてきた『超えてはならない一線』に対する規範が無視されている」と、中満泉国連事務次長が指摘しました。

しかし、日本政府はイスラエルのジェノサイド（集団殺害）が国際人道法違反という明確な認識を示していません。アメリカ言いなりで開始された敵基地攻撃能力保有と大軍拡を強行しています。

安保法制の廃止と立憲主義の回復を求める市民連合は23年12月7日、立憲野党に政策要望書「市民の生活を守り、将来世代に繋げる政治への転換を」を手渡しました（別掲）。

第1項は、平和外交、専守防衛、防衛費増大の行きつく先の戦争回避、集団的自衛権の行使・敵基地攻撃能力の保有を容認せず、核兵器廃絶、などであり今まさに求められていることです。

物価高、円安、不公平税制に苦しむ国民から、自民党の政治資金パーティー・裏金問題に対する怒りが沸騰しています。権力の腐敗・私物化に歯止めをかけ、立憲主義に基づく公正で開かれた政治が求められています。

市民連合は、次期衆議院選挙に向けて市民と立憲野党の協力体制を整える必要から要望書を提出しました。

市民連合　共通政策項目

1. 憲法も国民生活も無視する軍拡は許さない
2. 物価高、燃料高騰、円安、不公平税制を放置せず、市民の生活を守る経済政策を行う
3. だれもが個人として尊重されるよう、ジェンダー平等・人権保障を実現する
4. 将来世代へと繋げるために、気候変動対策を強化し、エネルギー転換を推進する
5. 権力の私物化を止め、立憲主義に基づく公正で開かれた政治を行う

中学校分会交流会 教職員の合意を

中学校分会交流会を12月22日に行いました。各分会で起こっている問題を交流しました。

教育的指導に対する保護者の「苦情」に正しく対応できない、教職員の合意を大切にしない学校運営による教職員間の「トラブル」を解決できない、「校務をつかさどり、所属職員を監督する。」（学校教育法）ことが出来ない管理職が増えている。

第2期「学校園における働き方改革推進プラン」をはじめとする諸制度や、学校閉庁日のテレワーク勤務が可能であること、長期休業中の勤務時間の変更を全く理解していない等々が出されました。維新市政による、「管理職なり手不足」、「校園長権限強化」の問題が露わになっています。次回は3学期末に予定しています。青年の積極的な参加を待っています。

仲間が増えた！

組合加入者が声をかけ相談 病休からの復職相談で加入

今年度組合加入のAさん、未組合員Bさんが仕事が多く疲弊しているのをみて、組合に相談したらと声かけ。Bさんは大阪市教に電話し人事のことなどを相談。後日「組合に入りたい」との連絡がありました。

病気休暇からの復職で悩んだCさんは、思い切って大阪市教に電話。具体的にどうすれば良いか、年度末人事の事も相談、組合に加入しました。

私たちの労働環境や教育現場を取り巻くさまざまな問題が渦巻く今、私たちが声を上げるためにはまず、職場の問題に目を向け、声を聞き、仲間になりましょうと、訴えることが大切です。今年は是非、あなたの職場で仲間を増やしましょう！

蔵王「銀世界」 北大阪支部スキーのつどい

「北大阪支部2023スキーのつどい」蔵王温泉スキー場に行きました（12月24日～27日）。パウダースノーのスキー、スノーボードだけではなく、一面「銀世界」の美しい景色。ジンギスカン・十割そば・おもち、などの美味しい食事、山形市内の観光も楽しみました。

大阪市教役員選挙
選挙公報・投票用紙発送
2月5日(月)
郵送投票本部締切
2月16日(金)

教え子を再び戦場に送るな！